

平成 30 年度

家庭学習の手引き

～確かな学力を身に付けるために～



授業が分かると、学校生活がさらに充実します。また、志望する進路へ進むことができる可能性が高まります。

良好な結果を出すためには、授業を大切にすること、家庭学習を自主的に行うことが大切です。限りある時間を効果的に使うために、この冊子を参考にしてください。各教科の先生が、自分の成功体験やプロとしての見識を基に、具体的な方法をまとめました。

努力が実力へ変わることを、大いに期待しています。

宇都宮市立宝木中学校

毎日決めた時間に、自分から行おう。

○ 規則正しい生活リズムから、家庭学習時間を確保しましょう。

- ・ 毎日必ず学習しましょう。**自主学習ノート**を活用しましょう。

共通目標 **自主学習ノートを1日1ページ**から始めましょう。

学年目標 1年：1時間30分以上、2年：2時間以上、3年：2時間30分以上

毎日続けることによって、とても大きな効果があります。

- ・ テレビやゲーム、携帯電話やスマートフォンなどは、時間を決めて使いましょう。

○ 学習の計画を立てましょう。

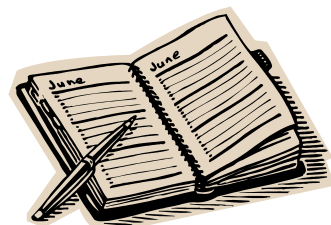
- ・ 「何をいつまでにやるか」の見通しを立てて、実行しましょう。
- ・ 「今日は〇〇を〇分やろう」などと、内容や時間を決めましょう。
- ・ 頑張ったこと（学習時間など）を、スタンダードダイアリーに記録しましょう。

○ 今日習ったことは、その日のうちに復習しましょう。

- ・ **自主学習ノートを1日1ページ**から始めましょう。

○ 集中して取り組みましょう。

- ・ 〇〇しながら勉強はしないようにしましょう。
- ・ 携帯電話・スマートフォンの電源を切るなどして、着信によって勉強への集中が途切れないようにしましょう。



○ 期日を守って、宿題を提出しましょう。

- ・ 宿題は、その日のうちにやりましょう。
- ・ 分からないところは、友人に聞いたり先生に質問したりしましょう。

1年生・2年生

- ・ 辞典(国語辞典・漢和辞典・英和辞典など)を使う習慣を身に付けましょう。
- ・ 声に出して、教科書を読みましょう。
- ・ 大切なことは、繰り返し書いたり、よく見る所に貼ったりして覚えましょう。
- ・ 時間を決めて、計算練習などを行いましょう。

3年生

- ・ あいまいなことはすぐに確かめて、正しいことを覚えましょう。
- ・ 1・2年生の復習と3年生の学習を、バランスよくやりましょう。
- ・ 繰り返し学習を行い、確実に理解しましょう。
- ・ 速く正確に答えられるようにしましょう。

国語

1 授業 → 復習 の学習サイクルを身につけましょう。

- ① 授業で書き込んだノートやワークシートを見直しましょう。
できなかった問題は必ずチェックし、間違いを繰り返さないようにしましょう。
- ② 物語、説明文、古典、どの単元でも教科書を大きな声で音読できるようにしましょう。
古典などは、歴史的仮名遣いに注意し、暗唱できるようにしましょう。
- ③ 漢字ノート、200字ノートを活用し毎日学習しよう。
授業の単元の読めない漢字や新出漢字等、反復練習して読み書きできるようにしよう。
漢字の練習は正しい字の形（楷書）で丁寧に何度も練習しよう。
- ④ 『国語辞典』『漢和辞典』を使って、言葉や漢字を調べよう。
わからない言葉や漢字を自分で調べることで、より記憶に残りやすくなります。

2 普段の生活から国語に親しみましょう。

- ① 本を読みましょう。
夏目漱石、芥川龍之介、太宰治など、教科書にも載っている有名な作家の本が図書室にもあります。難しい言葉もあるかもしれませんが、是非、読んでみましょう。
- ② 新聞を読みましょう。
世の中で何が起きているかをきちんと知るためには、新聞は素晴らしい情報源です。
読解力も高まりますので、短時間でも、毎日読んでみましょう。
- ③ スタンダードダイアリーを毎日書きましょう。
毎日書くことを、文章を書く力が伸びます。適切な漢字を使って、読みやすい文章が書けるようになりましょう。
- ④ 授業で学んだ語句を、会話の中で使ってみましょう。
言葉は、人間関係を成り立たせるものです。学んだ言葉を、普段の生活の中で使ってみましょう。



1 社会の出来事や動きに関心を持ち、

その事象について自分なりの意見を持ちましょう。

- ① 新聞やテレビのニュース番組を観て、日本や世界、地域の出来事に興味をもつようにしましょう。
- ② テレビなどで出てきた場所を地球儀や地図帳などですぐ見る習慣を付けましょう。また、チェックしておきましょう。
- ③ 歴史まんがや歴史に関する番組、ドラマなど、その他クイズ番組なども積極的に観るようにしましょう。

2 復習が大事です。その日の内容はその日の内に復習しましょう。

- ① 授業を真剣に聴き、そのノートを見ながら、今日習ったところの教科書を読み、学習内容の確認をして、自分なりにまとめる事ができるようにしましょう。
- ② 実力をアップするために、ワークの問題を繰り返し実施し、出来たところと出来なかったところを区別できるようにしましょう。その時大事なのは、間違い直しです。正しい答えを確認しましょう。
- ③ 配布した問題プリントやテストを何度も繰り返し復習し、歴史の流れや地理的特色は一人の人物、一つの物事でもいくつかの方面にわたって関係しつなっています。それらをとらえ理解・把握できるようにしましょう。

3 授業がよりわかりやすくなるための工夫をしましょう。

- ① 授業でやった内容を思い出しながら、ワークを利用し
単元終了後すぐに復習していきましょう。復習の積み重ねを忘れずに実践しましょう。
(ワークは貯めてやらずに少しずつ着実に進めていけば、提出時も苦労しません。)
- ② 教科書の太文字(ゴシック体)や意味の分からなかった
語句については、直ぐに自分で調べたり、先生に聞いたりするなどして理解できるように
しましょう。
- ③ とにかく授業に集中して臨み、自分の意見や考えをもって
発言や発表をしながら活動するようにしましょう。



数学

1 宿題は、必ず習ったその日のうちにしましょう。

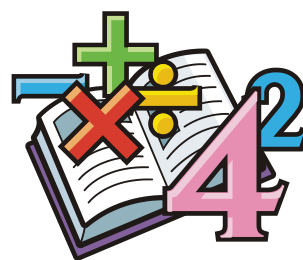
わからないところは、先生や友達に質問して、必ず理解することができるようにしておきましょう。

2 復習をしましょう。

- ① 教科書の内容は確実に理解しましょう。
- ② 数学演習や問題集などを使って、できるだけたくさん問題を解きましょう。
今日学習したところの問題や問題集の類似問題を行いましょう。
- ③ テスト直しは、確実に解けるようになるまでやりましょう。
問題やテストなどで間違ったところをやり直して、できるまで繰り返し行いましょう。
できなかったこと・わからなかったことをできるようにするのが勉強です。

3 その他

- ① 計算は、途中の式もきちんと書く習慣を付けましょう。
また、正確に速くできるようにしましょう。
- ② 線分図や表にあらわすと、わかりやすくなることもあります。
「書く」ことを面倒がらないことです。
- ③ ノートは、復習に使えるようにわかりやすく書き、工夫して見やすいものにしましょう。
ただし、「ノートをとるのに精一杯で、説明が聞けなかった」というようなことがないように気をつけましょう。色ペンなどは、赤、青など2色程度が適切です。
- ④ 数学の公式は繰り返し練習して、使えるようにしましょう。



1 予習よりも、復習に力を入れましょう。

予習して結果がわかっていると、実物に接した時の感動が薄れます。実験前に理由をつけて予想したり、実験結果から考えたりといった【考える】活動が、予習で知ったことを【思い出す】活動になってしまいます。

授業で学んだ知識を確実に身に付けるためには、復習が大切です。

復習は、①覚える、②使う、③確かめる、のサイクルでやりましょう。（授業中にほぼ100%覚えたと思ったら、②から始めましょう。）

① 教科書を読んだり、まとめ直したりして、大切なことを覚えましょう。

太字で書いてある言葉や、枠で囲まれている内容は特に重要なことです。読みながら「ここが大切!」と思ったら、ラインマーカー等で目立つようにしましょう。また、写真・図・グラフ等も確認して、視覚的なイメージをもちましょう。

改めてノートにまとめ直すと、頭のなかも整理されます。単元の終わりやテストの前などに、やってみましょう。



② 問題集をやって、覚えたことを思い出して、使いましょう。

問題集をやって、大切な言葉や内容を思い出したり、公式や知識を利用して考えてみたりしましょう。何度も使ってみる（思い出す）と、長期間安定して覚えておくことができます。

問題集は、答えを別冊に書くタイプを選んでいきます。日頃の復習（1回目）では別冊に書き込み、テスト前の復習（2回目）では問題集本体に書き込むように使いましょう。

③ 答え合わせして、正しい答えを確認しましょう。

問題を解いたら、時間を置かずに答え合わせしましょう。自分では正しいと思っていても、思い違いということもあります。間違っていた部分は、ペンで正しい答えを書き込みましょう。同時に解説をよく読み、理解を一層深めましょう。

2 自然体験や科学的な体験を増やし、本物に触れましょう。

生き物・岩石・地層・星・天気など、自然の事物や現象を直接見たり感じたりしましょう。窓が曇る、水にものが溶けて見えなくなるなど、生活の中で科学的な現象に出会ったら、なぜそうなるのかを考えたり、学んだことを思い出したりしましょう。豊かな体験は、理科を学ぶ際の大きな力となります。

英語

1 予習しましょう。

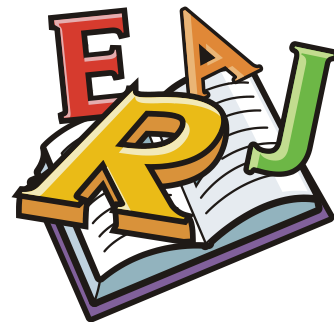
- ① 新出単語の意味を調べて、自主学习ノートなどに書いて練習しましょう。
- ② 本文をノートに書き写し、次に学習する内容を大まかに分かるようにしておきましょう。

2 復習しましょう。

- ① 授業があったその日に、必ず復習しましょう。
- ② 教科書の本文を、声に出して読みましょう。
- ③ 学んだ表現や単語を、発音しながら繰り返し書いて覚えるようにしましょう。
- ④ プリントやワークブックの練習問題を繰り返し解きましょう。
- ⑤ 授業でわからなかったところは、自分で調べたり、先生に質問したりしましょう。

3 自分の興味・関心から学びを深めましょう。(発展的な学習として)

- ① 好きな洋楽のアーティストの曲を歌ったり、歌詞の意味を考えたりしてみましょう。
- ② テレビの二か国語放送の映画や天気予報を見てみましょう。
- ③ 好きなことに関する英語を調べてみましょう。
- ④ 家族と英語で話してみましょう。



家庭学習は、宿題だけをやればよいというものではありません。特に中学生は、卒業に向けて一人一人が自分の進路を決めていかなければなりません。自らの希望を叶えるためには、宿題など指示されたことをやるだけでなく、自らの課題を明らかにして、改善していく努力が大切です。そのためにも、自分から進んで、学習しましょう。

また、中学生は、部活動に参加する人、学習塾などに通う人も多く、家庭での時間がまちまちです。現在の実力も、人によって差があります。一方、小学生の時よりも、自分で考える力が備わっています。そこで中学生では、自主学習が家庭学習の基本となります。

社会人として自立できる力を身に付け、明るい未来を自ら拓いていけるように、今できることを精一杯取り組みましょう。

平成30年度の主なテスト予定

定期テスト	6月15日(金)	1学期中間
	8月31日(金)	1学期期末
	11月21日(水)	2学期中間
	1月17日(木)	2学期末(3年生)
	1月18日(金)	” ”
	2月14日(木)	2学期末(1・2年生)

実力テストなど	1年生	7月10日(火)	第1回	実力テスト
		12月5日(水)	第2回	実力テスト
		1月9日(水)	第3回	課題テスト
		3月6日(月)	第4回	実力テスト
2年生	4月12日(木)	第1回	課題テスト	
	7月10日(火)	第2回	実力テスト	
	1月9日(水)	第3回	課題テスト	
	3月6日(月)	第4回	実力テスト	
3年生	4月12日(木)	第1回	課題テスト	
	7月10日(火)	第2回	実力テスト	
	9月14日(金)	第3回	実力テスト	
	10月12日(金)	第4回	実力テスト	
	11月9日(金)	第5回	実力テスト	
	12月5日(水)	第6回	実力テスト	
	2月14日(木)	第7回	実力テスト	

全国学力・学習状況調査(3年生が対象)	……	4月17日(火)
とちぎっ子学習状況調査(2年生が対象)	……	4月17日(火)
学習内容定着度調査(3年生が対象)	……………	12月12日(水)
高校入試 県内私立高校・第1回	……………	主に1月上中旬
栃木県立高校・学力検査	……………	3月6日(水)